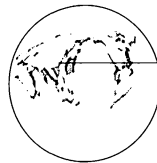


海外動向

マレーシア UTM 大学における 田口研究センターの近況報告



シャリ・モード・ユソフ*

本報告は、Vol.23, No.5の視点「Genichi Taguchi Centerの設立（田口伸訳）」を受けて、シャリ UTM 教授からの寄稿文を訳したものである

田口研究センター（Genichi Taguchi Centre for Quality and Sustainability）は、ASEAN 領域を含む日本以外の品質工学技術を普及するためにクアラルンプールの UTM（UNIVERSITS TEKNOLOGI MALASIA）[マレーシア工科大学]の工学および先進テクノロジーを進める Razak School に設立されたものである。ここでは、MT システム、タグチメソッド、品質管理、トヨタ生産方式、トータル品質マネジメントおよび持続的生産を含むものである。

1. センターの活動状況

本センターの設立以後、いくつかの活動について；

(1) 現在の研究作業を進めるために、基盤となる品質のロバスト技術、新規性の高い研究に焦点を合わせたパラメータ設計、品質マネジメントなど工業の専門家による先端研究ジャーナルの確立、また、このジャーナルのもたらすものは、品質工学に関心を持つ研究者による次世代への知識創成を促すことができる。本ジャーナルの適用範囲はロバスト

設計、タグチメソッドとその技術戦略、マハラノビス・タグチ・システム（MT システム）、静的品質工学、先端的品質マネジメント、希釈工学、環境などの持続的工学、および、これらの範疇での新規なトピックスなどである。

ジャーナルに関する詳細は；<http://akademibaru.com/journal.hym1> を参考に。

寄稿された論説と論文による創刊号は、英文で書かれたものである。

(2) 各種工業問題の解決に対し、タグチメソッドと技術の応用に求め、マレーシア政府の高等教育に焦点を合わせた研究助成の申請。

(3) 炭酸ガス放出を吸収するため、タグチメソッドを用いた炭素吸着率を最適化するための国家的パワープラントとの研究契約の獲得と石炭燃焼プロセスを通して放出される二酸化炭素回収により空気汚染の減少と環境の緑化を推進。

(4) 産業部門におけるプロセス向上のための上級産業統計学の短期コース。

カバーされるトピックスは、

- a) パラメータ変化に対する変動と相関のコントロール
- b) 実験計画と要因の解析
- c) プロセスの最適化

* UTM（マレーシア工科大学）教授